



発行所 和歌山県小松原一丁目 和歌山県企圖広報 編集人 梅北旭 印刷所 毎日印刷所 毎月一回一日印刷発行 定価 一部2円50銭

◆收穫を貯金に えて伸びる村 ◆働いてためて豊 かな村づくり

当初予算は骨格で 節減と合理化に主眼

來年度の県予算編成方針きまる

知事、県議会議長の改選期を来年四月に控えているので、また、国の予算や行政機構の改革など、地方行政に大きな関係のある問題は最終の決定

を待たないで、昭和三十年年度の当初予算は骨格予算を編成することになりました。

いままでは、国の予算の編成方針であるが、財政方針についてできるだけ確実な資料をもとに、国の予算を編成し、国の決定によって必要な額を追加更正されてきたが、昭和三十年年度の県行財政の運営は、来年四月の選挙で選ばれる知事、県議会議長によって決定されるべきではないかと、従って、来年度の当初予算に必要最低限度の骨格予算を編成して、おき、新しい知事、県議会議長によってこれを補正することになります。しかし、県財政の現状は、

毎年の災害や仕費の増大など、極度に窮乏しており、二十九年度は普通行政の維持も赤字が予想される。災害復旧工事などを含め、困難な局面に直面しており、これを克服し、十年年度の県財政を回復し、健全にするには、まず、一、二の自主財源を確保すること、三、四の経費削減による予算の

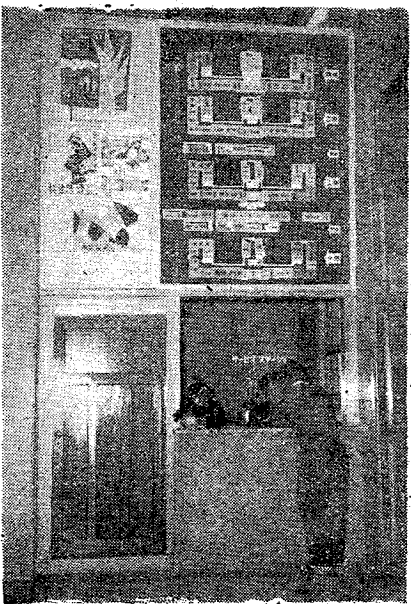
事務費は二割減

【支出方針】人員費は一月一日現在の現給で、事業の合理化による削減は増員はせず、また、臨時職員はできる限り削減する。

供米完遂にお願い

本年の稲作は、播種・耕作と災害を除いては順調に終りました。また、災害地の稲作も、時期は多少おくれましたが、以上の成果をおもて、各農家は、災害復旧に従事した各位、農民各位の努力の賜でありました。ところで、今年こそは稲作を希望にあふれたので、六月、水害に襲われ、苗の植えかえに流石田の復旧に東奔西走、

では台風のついで、被害状況を考えられませんが、何分にも和歌山県は消費県であり、主食の量に減額に専念し、その決定に当り再三にわたる折衝を重ねた結果、本年度産米の供出量は、供出七千五百石、超過額一千万石と決定されました。去る十一月一日から開かれた農業会議の同意を得、地方事務所長市長会議の席上で指示、郡市訓諭を完了したわけであり、本年の生産事情からみれば、この供出量は決して楽なものとは



第八回県展和和と田邊市で開催

郷土美術の一年間の総決算ともいへ、県教育委員会、毎日新聞社共催の第八回県展は、十一月七日から和歌山市（丸正百貨店）と田辺市（公会堂）で開催されます。日程は和歌山市が七日から十一日まで、田辺市が十二日から十五日まで、日本画と書道、工芸、生花、田辺市は二十日から二十七日まで生花を除く全部が展示されます。

山陰路で大人気

県移動物産展かえる

十一月六日朝、小野知事の激励を受けて、勇躍山陰路を走り出た移動物産展は、道行く人々の目を惹きながら福知山市を経て八日鳥取市に進出、錦秋の紀州路への観光キヤッチ・フレーズで山陰路をひきつづけた。宣伝紹介と即売をかねて満載していた木工、漆器、シロ製品、和傘、食料品、みかんなど十種目二〇〇品におよぶ本県特産品、いすも売行きよくその場の引合もあつて、出張係員は嬉しい忙しさに顔をほころばした。移動物産展は十日、更に米子、松江、出雲の各市を一巡して無事帰郷します。



新生活運動の推進に 六十万人の署名

県では新生活運動の主旨を徹底し、提唱している五の化、今までも対照してきた実践項目を全県民の理解と協力により推進するため、賛同を求め署名運動を行つてきました。この署名運動は、市町村新生活の建設運動推進委員会を通じて県下二十万の全世帯を対象とし、十月甲子六万人の署名を得られたものと期待しています。

県廳玄関にパノラマ

県庁四S運動の一としてサービス(奉仕)が大きなとり上げられ特に窓口サービスを重点的に実施することになり、このため、玄関のサービス・ステーションを拡充し、高さ二尺の電氣点滅式立体パノラマを設け、案内位置を一目でわかるようにしました。また勤務者は、今までの輪番制でしたが、新たに専任職員を置いて外來者にサトアスレします。

供出期間中の 開米に断!

十一月の県庁見学前半期以来、現在までに県庁を訪れた見学者は次のとおりです。十月二十六日麻生小学校(六八名)十一月九日丹生中学校(二〇〇名)十一月九日色川小学校(二七名)十一月五日田辺第三小学校(二五〇名)

【尋ね人】東京の米商大倉からきたカワ・ヨシタロウ氏夫妻(カナタ太陽生命保険加入者の住所調査の依頼がありました。本人または本人の住所を御存知の方は至急県移住課へ御連絡下さい。)

滴々抄 ○また本末を化のとき来た。一年は夢なりと、雨の流れる早きに驚く外はない。 ○賑、なり物の売出し最盛の中にあつて越すに越すれぬ年の瀬を悩んでいる人々も随分多いことである。 ○生活保護をうけていても、それは最良の生活が可能な程度である。ポーターラインにある人々の苦しみにも、深いものがあつた。 ○うした人々の心づかいとしてNHKの歳末だけあつた運動をめぐり、社会事業団体では一斉に運動を展開している。

自力再建県民運動 新生活の建設をしよう 改善の改善 冠婚葬祭の改善 貯蓄の奨励 衣食住の工夫と改善 保健衛生の向上 助け合いの実践

供米で育は明の日本 目標 79500石

供米で育は明の日本 目標 79500石

不幸な人たちのために

床しく贈る菊の花

晩秋の巷に咲いた佳話

身体的に重くない不幸な児、養育院で生活を営む。...



四点に労働大臣賞

全国職業補導展で受賞

職業補導所の宣伝と職業補導生の技術向上をかねた全国職業補導展が、...

年末の防犯心得

現金を見られぬように

毎年のことですが年末になると、犯罪が急増し、あつたなしの現金の不正な安全を保持...

各地に調理士会誕生

昭和二十六年に調理士会が誕生して以来、各地に調理士会が誕生している。

告知板

職業補導生募集、生活改善普及員資格試験合格者、予備自衛官募集、有田郡に総合火葬場、納税貯蓄組合の預金利息は...

納税貯蓄組合を

結成しましょう

本組合員各名を納税貯蓄組合に加入する人は、組合長に加入の届出をすればよいこと...



有田郡に総合火葬場、有田郡の火葬場は七・八水田、...

Advertisement for '自立促進 貯蓄運動' (Self-reliance promotion savings movement) with illustrations of people.

Advertisement for '農業経営は正しい簿記の記帳から' (Agricultural management from correct bookkeeping) with illustrations of a farm and a ledger.

